

は る な こ は る な さ ん
榛名湖・榛名山



じょうもう のほ は る な むら ふだ し
上毛かるた「登る榛名のキャンプ村」の札でも知られる

は る な さ ん あ か ぎ や ま み ょ う ぎ さ ん じ ょ う も う さ ん ざ ん よ
榛名山は赤城山・妙義山とともに上毛三山と呼ばれています。

は る な さ ん き え ふ だ え が
「榛名山」と聞くと、かるたの絵札にも描かれている

は る な ふ じ お も う ひ と お お お も
榛名富士を思い浮かべる人が多いと思うけど、じつは

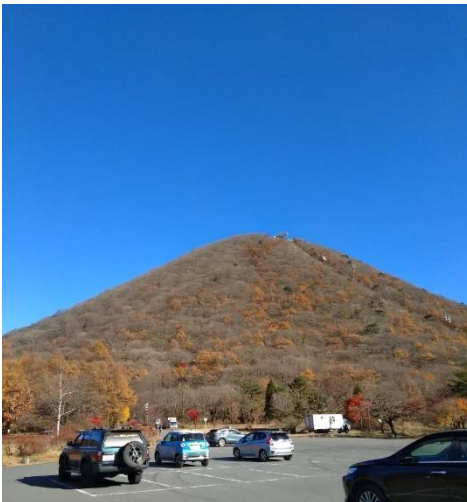
は る な さ ん や ま な ま え
「榛名山」はたくさんの山をまとめた名前なんだよ。



いちばんたか やま か も ん が た け たか
一番高い山は**掃部ヶ岳**とって、高さは
1,449 メートルあります。四季折々の自然を
たの 楽しめます。



は る な ふ じ たか ふ じ さ ん
榛名富士 (高さ 1,391 メートル)は、かたちが富士山
に似ているためにそう呼ばれています。山頂とロープウェイ
でつながっているので、簡単に頂上近くまで登ることがで
きます。このロープウェイは2両連結のゴンド
ラで、日本では珍しいかたちです。山頂からは
晴れていれば富士山を見ることができます。



やま
ほかにはどんな山
があるのだろうか？



火山の恵み

はるなさん なんと ふんか げんざい すがた
榛名山は何度も噴火をくりかえし、現在の姿になりました。

ふんか せいき さいご お はるなさん いま
噴火は6世紀ごろを最後に起こっていませんが、榛名山は今
でも活火山に分類されています。



▲湖になる前はどんな場所だったのかな？

はるな こ はるなさん
榛名湖は、榛名山

ふんか
の噴火によってで

おお
きた大きくぼみ

みず
に、水がたまってで

みずうみ
きた湖です。はじ

おお
めはもっと大きな

みずうみ ふんか
湖でしたが、噴火

いま おお
によってかたちをかえて、今の大きさになりました。かつて

みずうみ げんざい ぬまのはら しつげん
湖だったところは現在、沼ノ原という湿原になっています。

また、^{はる な こ おんせん い か ほ おんせん}榛名湖温泉や伊香保温泉は、

^{はる な さん か ざ ん かつどう けいせい}榛名山の火山活動によって形成された
^{おんせん}温泉です。

^{か ざ ん ふん か と き おお さいがい}火山が噴火すると、時に大きな災害
^{お おお ひと こま}が起こり、多くの人困ることがあり
ます。しかし、^{いっぽう か ざ ん ちから}その一方で、火山の力

によって^{けしき とくべつ ちけい}きれいな景色や特別な地形ができたり、^{おんせん う}温泉が生ま
れたりすることもあるのです。



▲伊香保温泉石段



▲「上野国榛名山真図」1888(明治21)年

群馬県立図書館所蔵・群馬県立図書館デジタルライブラリー

まめちしき

はる な こ はん たいしょうじだい かつやく
榛名湖畔は、大正時代に活躍し

が か たけひさゆめじ あい けしき
た画家の竹久夢二が愛した景色

ゆうめい
としても有名だよ。

まめちしき

まんようしゅう はる な こ
万葉集には榛名湖を、

い か ほ ぬま よ
「伊香保の沼」と詠んだ

うた
歌があるよ。

まめちしき

むかし ふゆ はる な こ じょう
昔は冬になると、榛名湖にスケート場がで

きたよ。 こおり うえ ひと う
氷の上が人で埋めつくされるほどに

ぎやかだったんだ。



はる な み く さ ば な 榛名で見られる草花

はる な こ しゅうへん あき
榛名湖周辺では5月ごろから秋ごろまで、サクラやツツジ

(5~6月)、マツムシソウ(8~9月)など、たくさんの植物

をみることができます。特に、夏の夕暮れごろに咲き始め、

よくじつ そうちよう ゆうめい
翌日の早朝にはしぼんでしまうユウスゲは有名で、「ゆうす

げの道」というハイキングコースも整備されています。

榛名で見られる生きもの

榛名湖にはさまざまな生きものがすんでいます。その多くはほかの場所から持ち込まれたものです。たとえば、ワカサギは1927(昭和2)年に初めて放流され、コイは第二次世界大戦が終わったあとに入ってきました。一方、ブラックバスは本来日本にはいませんでしたが、一部の人が釣りを楽しむために、1974(昭和49)年ごろに許可を得ずひそかに放流した魚です。

湖の上には、水鳥がたくさんいます。冬に多く見られる水鳥はホシハジロです。

タヌキやリス、カモシカなどの動物も、榛名山の自然の中で暮らしています。生きものたちが住む場所を大切に、いつまでも暮らせる環境を守っていきましょう。



はるなさんのこのでんせつ 榛名山に残る伝説

その1 はるなこ しず ひめさま 榛名湖に沈んだお姫様



ふね みずうみ で とつぜん ひめさま みずうみ み な
舟で 湖 に出ていたとき、突然お姫様が 湖 に身を投げまし
た。

おどろ じじょ ひめ あと お みずうみ と
驚いた侍女たちは姫の後を追って 湖 に飛びこみます。

ひめさま だいじゃ りゅう すがた か じじょ かに
そののち、お姫様は大蛇や 龍に姿を変え、侍女たちは蟹に

ひめさま さが でんせつ
なってお姫様を探しているという伝説があります。

その2【榛名富士とヒトモッコ山】

富士山と、ひと晩でどちらが高い山がつくれるか競争して
いて、朝になってしまい、乗せようとしていた「もっこ」(土
を運ぶ道具)ひとつ分を残して負けてしまったという伝説が
あります。この時、競争していたのは天狗とも、ダイダラボ
ッチという巨人だともいわれていますが、競争に負けて残っ
た土の山が「ヒトモッコ山」、悔しくて泣いた涙が榛名湖に
なったという伝説があります。





【参考】

『なるほど榛名学』

『まんが榛名の歴史』

『榛名町誌 自然編』

『野山の花をたずねて 榛名山編』



はるなこ はるなさん
榛名湖・榛名山

2026 年 5 月 1 日 初版発行

編集・発行 高崎市立中央図書館

電話 027-322-7919

〒370-0829

群馬県高崎市高松町 5-28
